

令和7年度に実施した主な事業

項目	主な事業名	金額	項目	主な事業名	金額
総務費	ふるさと納税推進事業	3億8,318万円	商工費	白石スキー場運営事業	1億5,227万円
	新白石消防署用地購入費	1億1,035万円		物価高騰対策割増商品券事業	8,211万円
	市民バス運行管理事業	9,729万円		観光宣伝・振興事業	5,940万円
民生費	保育園運営事業	10億 349万円	土木費	道の駅整備事業	5億6,217万円
	障害者総合支援事業	9億1,594万円		橋梁長寿命化対策事業	5億1,879万円
	子ども・心身障害者医療費助成事業	1億6,138万円		スマートインターチェンジ整備事業	3億8,472万円
	物価高騰対策給付金給付事業	1億2,133万円		道路新設改良事業	1億9,451万円
衛生費	病院事業会計に対する負担金・補助金・出資金	9億6,747万円		道路維持事業	1億1,753万円
	予防接種事業	8,590万円	消防費	消防団等運営事業	7,410万円
	各種検診事業	8,398万円	教育費	公立学校情報機器整備事業	1億5,285万円
農林水産業費	中山間地域等直接支払事業	2,545万円		外国語・国際理解教育推進事業	3,036万円
	有害鳥獣対策事業	2,512万円		学びの多様化学校管理運営事業	2,404万円
	農業振興事業補助金	1,000万円			



▲6月7日に実施した総合防災訓練で、組み立て式段ボールベッドを実際に設置使用し、強度と実用性を確認【消防費】



▲(仮称)白石中央スマートインターチェンジと(仮称)道の駅しろいしZAOの起工式が行われ、工事の無事を祈願【土木費】

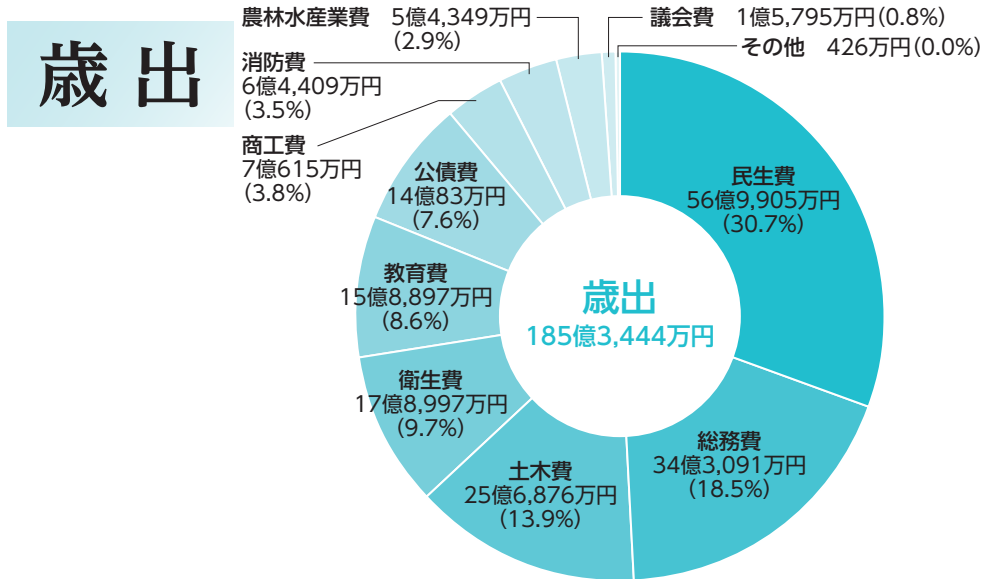
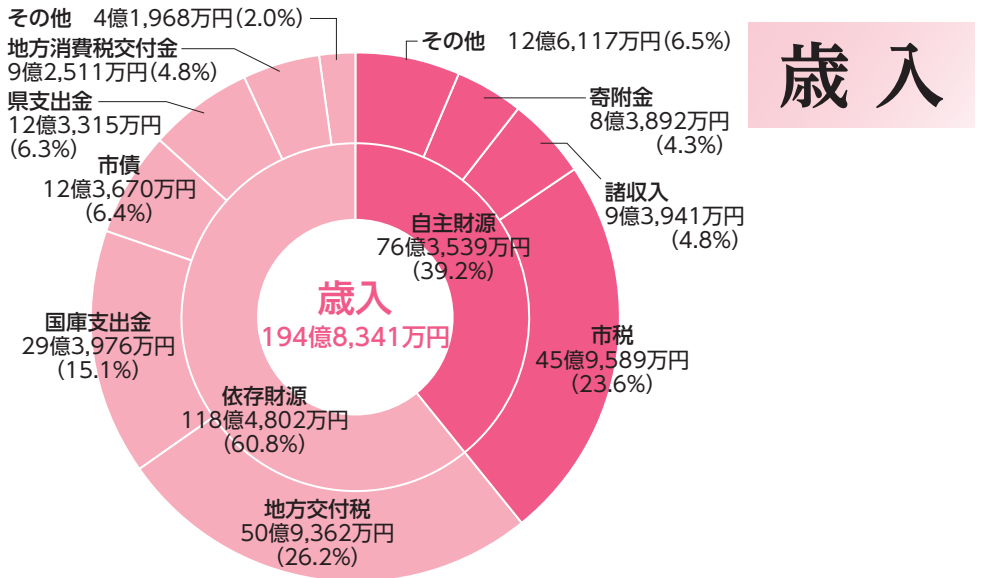


▲物価高騰対策事業として、未就学児1人あたり5キログラムの白石産ササニシキを配付【民生費】

歳入
市債が約4.5億円の増加
歳入は、市税、施設利用の際の使用料、住民票や各種証明書発行の際の手数料など、市が自主的に収入する自主財源と補助金や地方交付税など、国や県から配分を受ける依存財源に大別できます。
自主財源は、繰越金や寄附金は減少しましたが、諸収入や市税、繰入金は増加したため、約4.3億円増加しました。
依存財源は、道の駅整備事業などの財源として、市債を約12.4億円発行しました。一方、令和4年3月に発生した福島県沖地震に係るホワイトキューブ災害復旧事業の完了により、国庫支出金が減少したほか、定額減税に係る地方特例交付金なども減少したため、約2.1億円減少しました。

歳出
総務費が約2.6億円の増加
目的別の主な増減では、新白石消防署の用地取得費や減債基金積立金などが増加したことにより総務費が増加したほか、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金により農林水産業費が増加しました。

一方、令和4年3月に発生した福島県沖地震に係る災害復旧事業の完了により災害復旧費が減少したほか、病院事業会計への繰出金の減少に伴い衛生費が減少しました。



一般会計決算

項目	令和7年度	令和6年度	前年度比較	
歳入（収入）	194億8,341万円	192億6,227万円	2億2,114万円	1.1%
歳出（支出）	185億3,444万円	186億2,390万円	△8,946万円	△0.5%
形式収支（差引額）	9億4,897万円	6億3,837万円	3億1,060万円	48.7%
翌年度繰越財源	2億7,482万円	1億 609万円	1億6,873万円	159.0%
実質収支	6億7,415万円	5億3,228万円	1億4,187万円	26.7%

一般会計・特別会計決算

会計名		歳入（収入）	歳出（支出）	収支差引額
一般会計		194億8,341万円	185億3,444万円	9億4,897万円
特別会計	国民健康保険	35億4,037万円	34億4,711万円	9,326万円
	介護保険	40億6,385万円	38億 447万円	2億5,938万円
	後期高齢者医療	5億7,440万円	5億4,059万円	3,381万円
合計		276億6,203万円	263億2,661万円	13億3,542万円

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

令和7年度

決算

令和7年度一般会計・特別会計・企業会計の決算は、9月市議会定例会に議案を提出し、全会計とも認定されました。一般会計の歳入総額は、194億8,341万円（前年度比1.1%増）で、歳出総額は、185億3,444万円（同0.5%減）となり、3特別会計を合わせた歳入総額は、276億6,203万円（同0.5%増）で、歳出総額は263億2,661万円（同0.8%減）となりました。

また、一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた額は9億4,897万円（同48.7%増）で、このうち翌年度繰越財源は2億7,482万円を差し引いた実質的な収支額は、6億7,415万円（同26.7%増）となりました。ここで一般会計決算の概要をお知らせします。

◎財政課 ☎22-1332